

CASBEE_Sapporo2014v1.2
 クリアレジデンス新さっぽろウエスト

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
 ■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート	実施設計段階				重点評価項目		重点評価項目		重点評価項目		重点評価項目		重点評価項目	
					A	B	C	D	環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分	住居・宿泊部分	全体	
配慮項目					A	B	C	D	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質														2.7
Q1 室内環境														3.1
1 音環境									3.0	0.15	3.1	1.00		3.0
1.1 騒音									3.0	0.50	3.0	0.50		
1.2 遮音									3.0	0.50	3.2	0.50		
1 開口部遮音性能									3.0	1.00	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能									3.0	-	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									3.0	-	4.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)									3.0	-	3.0	0.20		
1.3 吸音									3.0	-	3.0	-		
2 温熱環境									3.0	0.35	3.0	1.00		3.0
2.1 室温制御									3.0	0.50	3.0	0.50		
1 室温									3.0	0.63	3.0	0.63		
2 外皮性能					A				3.0	0.38	3.0	0.38		
3 ゾーン別制御性									3.0	-	-	-		
2.2 湿度制御									3.0	0.20	3.0	0.20		
2.3 空調方式									3.0	0.30	3.0	0.30		
3 光・視環境									3.0	0.25	3.0	1.00		3.0
3.1 屋光利用									3.0	0.30	3.0	0.30		
1 屋光率									3.0	0.60	3.0	0.50		
2 方位別開口									3.0	-	3.0	0.30		
3 屋光利用設備					A				3.0	0.40	3.0	0.20		
3.2 グレア対策									3.0	0.30	3.0	0.30		
1 屋光制御					A				3.0	1.00	3.0	1.00		
2 眩り込み対策									3.0	-	-	-		
3.3 照度									3.0	0.15	3.0	0.15		
3.4 照明制御									3.0	0.25	3.0	0.25		
4 空気質環境									3.6	0.25	3.6	1.00		3.6
4.1 発生源対策									4.0	0.60	4.0	0.63		
1 化学汚染物質									4.0	1.00	4.0	1.00		
2 浮遊塵埃汚染物質									3.0	-	-	-		
4.2 換気									3.0	0.40	3.0	0.38		
1 換気量									3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能									3.0	-	3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮									3.0	0.50	3.0	0.33		
4.3 運用管理									3.0	-	-	-		
1 CO ₂ の監視									3.0	-	-	-		
2 喫煙の制御									3.0	-	-	-		
Q2 サービス性能									-	0.30	-	-		3.0
1 機能性									3.3	0.40	3.2	1.00		3.2
1.1 機能性・使いやすさ									3.0	0.40	3.0	0.60		
1 広さ・収納性									3.0	-	3.0	-		
2 高度情報通信設備対応									3.0	-	3.0	1.00		
3 バリアフリー計画									3.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性									4.0	0.30	3.5	0.40		
1 広さ感・景観									3.0	-	4.0	0.50		
2 リフレッシュスペース									3.0	-	-	-		
3 内装計画									4.0	1.00	3.0	0.50		
1.3 維持管理									3.0	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計									3.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保									3.0	0.50	-	-		
3 衛生管理業務									3.0	-	-	-		
2 耐用性・信頼性									2.9	0.30	-	-		2.9
2.1 耐震・免震									3.0	0.50	-	-		
1 耐震性									3.0	0.80	-	-		
2 免震・制振性能									3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数									3.0	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数									3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						B			3.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						B			3.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						B			3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔						B			3.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔						B			3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性									2.6	0.20	-	-		
1 空調・換気設備									3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備									2.0	0.20	-	-		
3 電気設備									3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法									3.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備									2.0	0.20	-	-		
3 対応性・更新性									3.0	0.30	3.0	1.00		3.0
3.1 空間のゆとり									-	-	3.0	0.50		
1 階高のゆとり									3.0	-	3.0	0.60		
2 空間の形状・自由さ									3.0	-	3.0	0.40		
3.2 荷重のゆとり									3.0	-	3.0	0.50		
3.3 設備の更新性									3.0	1.00	-	-		
1 空調配管の更新性									3.0	0.20	-	-		
2 給排水管の更新性									3.0	0.20	-	-		
3 電気配線の更新性									3.0	0.10	-	-		
4 通信配線の更新性									3.0	0.10	-	-		
5 設備機器の更新性									3.0	0.20	-	-		
6 バックアップスペースの確保									3.0	0.20	-	-		

CASBEE_Sapporo2014v1.2
 クリオレジダンス新さっぽろ ウエスト

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
 ■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

スコアシート	実施設計段階	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		A	B	C	D		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q3 室外環境(敷地内)						-	0.30	-	-	2.0	
1 生物環境の保全と創出						2.0	0.30	-	-	2.0	
2 まちなみ・景観への配慮						2.0	0.40	-	-	2.0	
3 地域性・アメニティへの配慮						2.0	0.30	-	-	2.0	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上						2.0	0.50	-	-	2.0	
3.2 敷地内温熱環境の向上						2.0	0.50	-	-	2.0	
LR 建築物の環境負荷低減性						-	-	-	-	2.2	
LR1 エネルギー						-	0.40	-	-	1.7	
1 建物外皮の熱負荷抑制						2.0	0.20	-	-	2.0	
2 自然エネルギー利用						3.0	0.10	-	-	3.0	
3 設備システムの高効率化						0.8	0.50	-	-	0.8	
BEI 非住宅 - 住宅(専有部) 0.91											
集合住宅以外の評価(3a.3b)						0.8	1.00	-	-	0.8	
集合住宅の評価(3c)						3.0	0.20	-	-	3.0	
4 効率的運用						3.0	0.20	-	-	3.0	
集合住宅以外の評価						3.0	-	-	-	3.0	
4.1 モニタリング						3.0	-	-	-	3.0	
4.2 運用管理体制						3.0	-	-	-	3.0	
集合住宅の評価						3.0	1.00	-	-	3.0	
4.1 モニタリング						3.0	0.50	-	-	3.0	
4.2 運用管理体制						3.0	0.50	-	-	3.0	
LR2 資源・マテリアル						-	0.30	-	-	2.8	
1 水資源保護						3.0	0.20	-	-	3.0	
1.1 節水						3.0	0.40	-	-	3.0	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用						3.0	0.60	-	-	3.0	
1 雨水利用システム導入の有無						3.0	0.70	-	-	3.0	
2 雑排水等利用システム導入の有無						3.0	0.30	-	-	3.0	
2 非再生性資源の使用量削減						2.9	0.60	-	-	2.9	
2.1 材料使用量の削減						2.0	0.10	-	-	2.0	
2.2 既存建築躯体等の継続使用						3.0	0.20	-	-	3.0	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用						3.0	0.20	-	-	3.0	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用						3.0	0.20	-	-	3.0	
2.5 持続可能な森林から産出された木材						3.0	0.10	-	-	3.0	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み						3.0	0.20	-	-	3.0	
3 汚染物質含有材料の使用回避						2.7	0.20	-	-	2.7	
3.1 有害物質を含まない材料の使用						3.0	0.30	-	-	3.0	
3.2 フロン・ハロンの回避						2.6	0.70	-	-	2.6	
1 消火剤						2.0	0.33	-	-	2.0	
2 発泡剤(断熱材等)						3.0	0.33	-	-	3.0	
3 冷媒						3.0	0.33	-	-	3.0	
LR3 敷地外環境						-	0.30	-	-	2.4	
1 地球温暖化への配慮						2.0	0.33	-	-	2.0	
2 地域環境への配慮						2.5	0.33	-	-	2.5	
2.1 大気汚染防止						3.0	0.25	-	-	3.0	
2.2 温熱環境悪化の改善						2.0	0.50	-	-	2.0	
2.3 地域インフラへの負荷抑制						3.0	0.25	-	-	3.0	
1 雨水排水負荷低減						3.0	0.25	-	-	3.0	
2 汚水処理負荷抑制						3.0	0.25	-	-	3.0	
3 交通負荷抑制						4.0	0.25	-	-	4.0	
4 廃棄物処理負荷抑制						2.0	0.25	-	-	2.0	
十分な駐車、駐輪スペースを確保している。											
3 周辺環境への配慮						2.7	0.33	-	-	2.7	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止						3.0	0.40	-	-	3.0	
1 騒音						3.0	0.33	-	-	3.0	
2 振動						3.0	0.33	-	-	3.0	
3 悪臭						3.0	0.33	-	-	3.0	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制						3.0	0.40	-	-	3.0	
1 風害の抑制						3.0	0.70	-	-	3.0	
2 砂塵の抑制						3.0	-	-	-	3.0	
3 日照障害の抑制						3.0	0.30	-	-	3.0	
3.3 光害の抑制						1.6	0.20	-	-	1.6	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策						1.0	0.70	-	-	1.0	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策						3.0	0.30	-	-	3.0	